

広報

にしあいづ

1

2022

No.759

謹賀新年

素晴らしい1年に

なりますように

もくじ - Contents -

P2 特集1 新年のごあいさつ

P4 特集2 新春特集 年男・年女インタビュー

P6 まちの話題

とゆりこども園発表会、百歳賀寿、西小6年生紙漉き体験 ほか



西会津町議会議長 清野 佐一

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町議会にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

慶春

【昨年を振り返り】

新型コロナウイルス感染症により、日常生活においてもさまざまな制限が行われ、皆様の生活にも多くの影響が生じたことと存じます。しかしながら、4月から医療従事者を対象に開始されたワクチン接種も順調に進み、10月上旬には集団接種が完了いたしました。多くの皆様がワクチン接種を受けられましたことや、目頃からの感染防止対策により、町内においては感染者も少なく、また、全国的な感染者数の減少もあり、年末から少しずつではありますが以前の生活に戻りつつあることは大変喜ばしいところであります。

【新年度に向けて】

町議会といたしましても、感染防止のため議会報告会を開催できませんでしたが、アンケート調査を行い、普段報告会に出席できない多くの皆様の声を聴くことができました。今後は、皆様から頂いた意見を議会運営に反映させてまいりますとともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、自粛しておりました活動を再開して参りたいと考えております。

また、町民の生命と健康、生活を守るため、町議会といたしまして2回にわたり町に

対し新型コロナウイルス感染症対策に関する要望を行い、町民生活の支援に努めてまいりました。この中で特に、米価下落に伴う支援策についても強く申し入れを行い、農業者の支援に努めてまいりました。

この新しい年にあたり、町民の皆様が安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、町民の皆様と議会、町と議会の絆をしっかりと繋げながら魅力あるまちづくりの実現に全力を尽くしてまいります。



西会津町長 薄 友喜

明けましておめでとうございます。

令和4年の初春を、町民の皆様と共に迎えられたことに心からお慶び申し上げます。皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症はいまだに終息の気配が見えず、新たな変異株の出現など、引き続き、私たちに脅威を与え続けています。長引く感染症による影響は、国内外の経済活動をはじめ、町内のさまざまな経済活動や私たちの日常生活

活にまで大きなダメージを与えています。

町民の皆様には、ワクチン接種をはじめ、町内各所において徹底した感染症対策を講じられていることに対し、感謝と御礼を申し上げます。

① 人材育成

これまで取り組んできた保育サービスをはじめ、各種事業のさらなる充実を図るとともに、子育てコミュニティ施設の活用など新たな取り組みを加えることによる子育て環境の充実・拡大を図ってまい

ります。また、結婚祝金の拡充をはじめ、農林業・商工業の活性化につながる施策を展開するとともに、町デジタル戦略に基づきさまざまな分野へのデジタル技術の活用を推進し、町内の総合的な活性化に取り組んでまいります。

② 移住・定住の促進

このほかにも、新たな取り組みを検討しながら、出来ることからひとつずつ実施に移してまいります。

③ 健康長寿

本年も町民の皆様の特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この創出や空き家対策を含めた多面的な環境整備を図りながら、移住・定住施策を展開してまいります。さらに、まちなかの再生などによるにぎやかな野沢町内の復活にも取り組んでまいります。



さとう たかゆき
佐藤 隆行さん

昭和 49 年生まれ 宝川

昨年は、仕事においても普段の生活においても、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響が大きい1年だったと思います。自宅で過ごすインドアな生活が続き、今までしてこなかった読書をする機会も増えました。

今後も新型コロナウイルスと共存していく生活が必要となってきますが、新年は趣味のゴルフや釣り、スキーなどを楽しんでいけたらいいなと思っています。また、娘が小学1年生になるので、娘と一緒に趣味を楽しむような素敵な1年にしたいです。

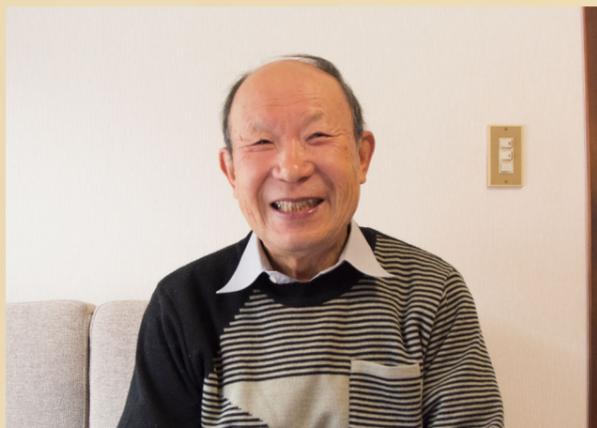
明けましておめでとうございます。
新春1月号では、恒例の新年特集として、今年の干支である「寅年生まれ」の皆さんに、新年の抱負や夢を伺いました。
今年の目標をすでに決めている人にとっても、これからの人にとっても、皆さまの新たな1年が輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。



新年の抱負

昨年は、一昨年の終盤に自宅で転倒して怪我をしたため、リハビリ生活からスタートしました。その甲斐あって今は大きな後遺症もなく、医師の人も驚いていました。体が回復してからは、秋に子どもたちと一緒に宮城県の松島に旅行にいったことやそこできれいな夕日が見れたことがとても印象に残っています。

新年も、子どもたちの世話になりながら元気に過ごして良い1年にしたいです。また、私の住んでいる荒木集落は人の少ない集落でもあるため、周りの力をお借りしながら、1日でも長く、ここで生活していけたらと思っています。



いわはし けいじ
岩橋 敬二さん

昭和 13 年生まれ 荒木

広栄さん 運送業と米作りの仕事に転身して昨年で9年目を迎えましたがまだまだだと感じています。引き続き精進するとともに、家族と仕事を大事にしながら、新しい年ではさらにスキルを磨きたいと思います。まさに「猛虎」のようにバリバリ頑張りたいです！

舞さん 昨年はコロナ禍が続く中で、子どもたちとどう楽しく過ごすか考えさせられた1年でした。新年は引き続き現状維持の気持ちで良い1年にしたいです。

裕也さん この1年はとにかく感染症対策に努め、マスク着用や手洗いうがいを徹底して過ごしてきました。新年を迎えましたが継続して対策に努めたいと思います。「寅年」ということで、何か新しいことにもトライしていきたいです。



あべ こうえい まい ゆうや
安部 広栄さん 舞さん 裕也さん

昭和 37 年生まれ、昭和 61 年生まれ 安座



くまぐら せな
熊倉 聖那さん

平成 10 年生まれ 新町

昨年は社会人3年目となり、通勤や仕事にもだいぶ慣れてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、私生活では思うように出掛けることもできず、何もしないで1年を終えたくなかったので、新しい趣味を見つけようと以前から気になっていたキャンプに手を出してみました。

令和4年はコロナ禍が落ち着いたら、昨年購入した車でいろいろな所へ旅に出掛けたいです。コロナ禍で流行っている車中泊に便乗し、自分の車もDIYして快適に車の中で寝れるよう今作成している途中です。日本1周まではいかなくても、東北地方や関東地方あたりは制覇してみたいです。



あかぎ たかこ
赤城 タカ子さん

昭和 25 年生まれ 松尾

昨年を振り返ってみると忘れられない1年だったなと思います。1月下旬から夫が半月ほど入院し、雪かきに苦労しました。日に3回も雪かきした日もあり、しんと降りる雪空をただ見上げていたことが思い出されます。コロナ禍でありましたが、夫も無事に退院でき、多くの皆さんから励ましの言葉を掛けていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

新年の干支「寅」(虎)は千里行って千里帰るといいますが、生業の野菜作りを無理せずにスローライフを心掛け、楽しく続けていきたいと思っています。また、好きな色の花だけを集めた花壇なども作ってみたいです。そしてなにより、新型コロナウイルス感染症が早く終息することを願っています。

長寿を祝い賀寿を贈呈 渡部シズエさん 満 100 歳に

渡部シズエさん（黒沢）が11月27日に満100歳を迎え、12月1日に賀寿贈呈式が行われました。式では、町や県、町老人クラブ連合会などから賀寿と記念品が贈られました。式の最後に渡部さん本人が「たくさんのお祝いありがとうございます。いつの間にか100歳になりました。家族や福祉サービスのおかげです」と100歳とは思えないしっかりした口調で謝辞を述べました。



◀ 児童たちが漉いた和紙。これを水分を搾り乾燥させると、和紙として使えるようになる。

伝統文化で卒業証書を手作り 西小6年生が紙漉き体験

西会津小学校では、6年生の皆さんが町の伝統文化である「出ヶ原和紙」について、全3回にわたってその歴史や工程などを実際に体験しながら学習しています。

第3回目となった11月25日は、出ヶ原和紙職人の滝澤徹也さんの工房に出向き、実際に自分たちの手で紙漉きを体験しました。児童たちは冷たい水の感触に苦戦しながらも、滝澤さんや地域おこし協力隊の大山菜那さんの指導の下、1枚1枚丁寧に和紙を漉き上げました。この体験学習で漉いた和紙は3月の卒業式で卒業証書として使われる予定です。



旬の手作り野菜が盛りだくさん ミネラル野菜 越冬野菜市

11月13日、にしあいづミネラル野菜普及会の皆さんによる「越冬野菜市」が道の駅にしあいづで開催されました。特設会場の店頭には、大根や白菜、長ネギなどの冬に旬を迎える野菜が多く並び、多くの買い物客が訪れました。

県外から訪れた買い物客もあり、普及会の皆さんが丹精込めて作った野菜たちを通して、改めてミネラル野菜の魅力を発信する機会にもなりました。

元気いっぱいに遊戯を披露 こゆりこども園 はっぴょうかい

こゆりこども園では、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年に引き続き参観者を入れない形で園児たちによる発表会を12月8日に行いました。この日の様子は収録され、後日ケーブルテレビで放送しました。

参観者のいない静かな遊戯室での発表になりましたが、園児たちはこの日のために練習してきた歌やダンスを元気いっぱいに堂々と披露しました。



たすき 礪 つないだ ランナー

- 1区 [女子 4.0km] 伊藤 妃杏 (西会津中2年)
- 2区 [男子 8.2km] 伊藤 亜久里 (東亜テクニカル(株)会津若松営業所)
- 3区 [男子 5.8km] 清野 樹 (西会津中3年)
- 4区 [男子 7.3km] 高野 駿 (喜多方高1年)
- 5区 [男子 6.4km] 岩原 遥音 (喜多方桐桜高1年)
- 6区 [男子 8.3km] 鈴木 俊哲 (会津学鳳高2年)
- 7区 [男子中学生 5.4km] 鈴木 正人 (西会津中3年)
- 8区 [男子中学生 4.1km] 清野 桜大 (西会津中1年)
- 9区 [女子中学生 3.0km] 築田 まりな (西会津中1年)
- 10区 [男子 9.3km] 伊藤 大河 (会津高3年)
- 11区 [女子 3.9km] 築田 ゆりな (西会津中2年)
- 12区 [男子 7.0km] 高津 雄大 (田代電機製作所西会津工場)
- 13区 [男子 4.8km] 齋藤 溪 (東北学院大3年)
- 14区 [男子 5.7km] 雅楽川 隼人 (西会津町振興公社)
- 15区 [女子 3.4km] 江川 愛彩美 (喜多方桐桜高1年)
- 16区 [男子 8.4km] 大場 悠 (西会津町役場)



▶ 岩原遥音選手(5区)

社会人や高校生など強豪ぞろいの1区女子区間に抜擢された中学2年生の伊藤妃杏選手が初出場ながらペースを着実に刻み、第一中継所に入ると、チーム主将で兄の伊藤亜久里選手が襷を受け、一般選手区間の3区を走る中学3年

思いを1つに

生の清野樹選手に襷をつなぎ、2区、3区を堅実に走り抜けました。

その後、4区の高野駿選手、5区の岩原遥音選手が危なげない走りを見せ、レース前半で一斉スタートとなった6区の鈴木俊哲選手が、区間29位で総合順位を2つ上げ33位の位置につきました。

中盤は、初出場の7区の鈴木正人選手、8区の清野桜大選手、9区の築田まりな選手の走りで総合順位を3つ上げ、エース区間の10区では伊藤大河選手が区間18位の快走を見せ、総合順位を29位としました。その後は、11区を中



▲ 清野桜大選手(8区)に声を掛ける 佐藤悦美監督



▶ 鈴木正人選手(7区)



▶ 築田ゆりな選手(11区)

学2年生で初出場の築田ゆりな選手が区間28位で走り抜け、数日前に区間変更となった12区の高津雄大選手と14区の雅楽川隼人選手、今大会唯一のふるさと選手となった13区の齋藤溪選手、15区の江川愛彩美選手が懸命に襷をつなぎ、西会津町チームで3年連

逆境にも負けず

今年の西会津町チームは、登録選手が少なく、大会直前まで選手のけがなどに悩まされ、2次エントリーを一部変更せざるを得なくなるなど苦しいチーム事情がありました。

このようなチーム事情の中でも、応援していただく町民の皆さんの思いを胸に、選手一人一人が精一杯走り抜けた大会となりました。



西会津町チーム総合32位

町の部14位でゴール

第33回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

2年ぶりに福島県縦断

第33回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月21日、しらかわカントリースポーツパーク(白河市総合運動公園)をスタートし、福島県庁前まで全16区間95・0キロで開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響でコースが短縮されましたが、今年は体調管理チェックシートの提出や、中継所における人員を制限するなどの感染症予防対策を行い、2年ぶりの「福島県縦断」の大会となりました。県内59市町村から50チームが出場した今大会は、天候にも恵まれ、終始穏やかな陽気のもと、全チームが16区間を走り抜けました。



▶ さゆり公園での夜間練習を重ねてきました

西会津町チームは、昨年に引き続き佐藤悦美監督を中心として、『込める!みんなの思いを1本のタスキに!』をスローガンに、7月から週3回、さゆり公園で練習を重ねてきました。昨年の総合29位よりさらに上位を目指し、チーム一丸となって本番まで取り組んできました。



式では、薄町長が「長年にわたって各分野で尽力され、町政発展への功績に対し、町民を代表し衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べた後、町議会を代表して清野佐一議長があいさつしました。

その後、出席した受賞者の皆さん一人一人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、長年の功績を表彰しました。

式の最後には、功労表彰を受賞した渡部雅二郎さん（左写真）が「このような表彰を受けることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も健康なうちは町の発展のために微力ながら力を尽くしていきたいと思えます」と謝辞を述べました。

町では、11月24日に令和3年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された19人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

長年にわたる功績をたたえ表彰 自治功労者表彰式

令和3年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

■功労表彰 [社会福祉、慈善事業、保健衛生等に貢献]

前町老人クラブ連合会長 渡部 雅二郎
前西会津町授産場理事長 渡部 健二
前町社会福祉協議会副会長 大堀 一衛



■善行表彰 [町政の向上発展に貢献]

エスオーインターナショナル株式会社(宮城県仙台市)
代表取締役 佐藤 悟
株式会社飯豊建設(西会津町)
代表取締役 斉藤 等
八ッ橋設備株式会社(会津若松市)
代表取締役 八ッ橋 善朗
株式会社あいづダストセンター(会津若松市)
代表取締役 一重 卓男

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

青坂自治区長
端村自治区長

[10年勤続]

三留 儀行
加藤 浩一

■自治区長永年勤続者

原町8自治区長
程窪自治区長
屋敷自治区長
戸中自治区長

[5年勤続]

新澤 光男
新田 康弘
伊藤 優一
長谷川 賢一

■納税貯蓄組合長永年勤続者

下野尻第一組合納税貯蓄組合長 佐藤 忠正
下野尻第七組合納税貯蓄組合長 菊地 久美子

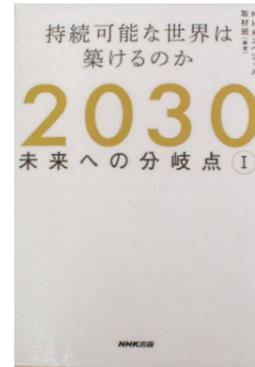
[20年勤続]

■納税貯蓄組合長永年勤続者

横町納税貯蓄組合長 伊藤 五月男
横町第四納税貯蓄組合長 渡邊 昇二
十ノ四納税貯蓄組合長 佐藤 百子
向原納税貯蓄組合長 鈴木 始

[10年勤続]

西中図書館 新刊オススメ本



『2030 未来への分岐点』
[NHK スペシャル取材班 著]
NHK 出版

現在、私たちが直面している世界規模の諸問題（資源の大量消費、加速する温暖化など）において、重大な分岐点になるのが「2030年」だと言われています。危機を回避するためには、この10年における私たちの行動と選択が、人類の未来にとって決定的に重要になってきます。

本書では、それらの問題に対し、6人の「世界の賢者」にインタビューし「未来への展望」を描いています。



『10秒で疲れがとれる 奇跡の目元ほぐし』
[村木 宏衣 著]
主婦の友社



『舞風のごとく』
[あさのあつこ 著]
文藝春秋



『砂に埋もれる犬』
[桐野 夏生 著]
朝日新聞出版



『ミカエルの鼓動』
[柚月 裕子 著]
文藝春秋

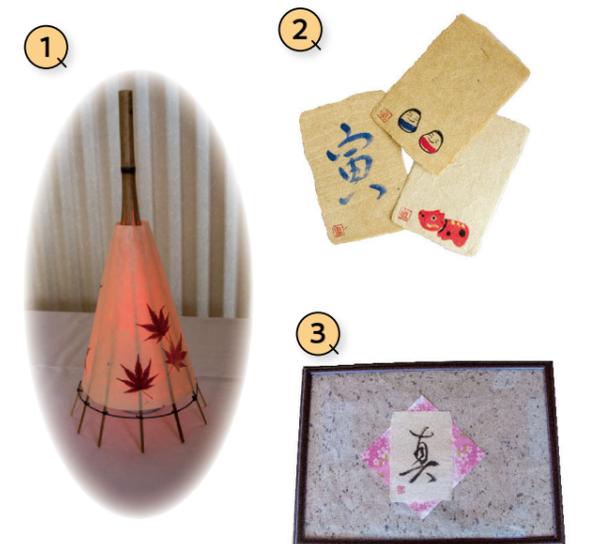
町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

町公民館では、地域文化を再生し、和紙の新たな可能性の発見を目的とした「出ヶ原和紙作り講座」を昨年度から開催しています。前月号に続き、本講座に参加した皆さんが自分で漉いた出ヶ原和紙を使って作成した作品を紹介します。

今日は、田崎真子さん（出ヶ原）の作品です。

作品によせて…

- ①ランプシェードは、二本松市和紙伝承館を視察した際に見たものを参考にし、近所で拾ったモミジなどを使って作りました。
- ②遠方の町出身の皆さんに送ろうと思い、年賀状サイズに加工しました。今の出ヶ原和紙の取り組みを伝え、赤べこなどのイラストを通して会津に思いを馳せてもらいたいです。
- ③取り除いたちりなどをあえて散らして一味違った和紙を漉きました。自分の名前にある「真」の字を書き、中央にあしらってみました。





議案13件を審議・可決 12月町議会定例会報告

12月3日から8日までを会期に開かれた令和3年第8回町議会定例会では、条例の一部改正、令和3年度補正予算など、議案13件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

協働のまちづくり推進委員会・まちづくりデザイン会議・町若手職員による合同活動報告会——
「協働のまちづくり推進委員会」は、町総合計画の推進にあたり、町民の皆さんの自発的な参画により、町民主体の協働のまちづくりを一層推進するため設置し活動しています。具体的には、まちづくりを自分事として捉え、自ら行動するという意識を高め、小さくても成果を出す目標を持ち、主体的に取り組みを企画・実現する活動を行っています。

また、7月に設置しました「まちづくりデザイン会議」については、町中心部の野沢・尾野本地区を区域とした「中心エリア整備構想」の策定に向け、まちなかに不足している機能の発掘・機能強化等に対する町民の幅広い意見の反映を図り、町民主体の協働によるまちづくりを一層推進するため、本年度から活動しています。

一方、町若手職員においては、行政課題が複雑化する現代で地方公共団体職員として町の未来を創造し、形成していく人材が求められている中、行政経営やまちづくりの視点から町に内在する問題・課題を適切に把握し、解決策



▲ 合同活動報告会

を自ら見出し、実行できる人材育成を目指した政策形成能力向上研修を実施してきました。

この3つのメンバーが集まり、情報共有や取り組みの連携を図るとともに、町民と行政による協働のまちづくりの機運をさらに高めることを目的に、11月20日、合同活動報告会を開催しました。

報告会では、活動する13グループがそれぞれ取り組んできた内容などの中間報告を行いました。町では、こうした町民の皆さんの取り組みの実現に向けて、引き続き支援していきます。

としても、3回目の接種を希望する人が安全に接種を受けられるよう、鋭意準備を進めていきます。

令和3年度産米の作柄とモニタリング検査

農林水産省による10月25日現在発表の米の平均作況指数は全国で「101」の「平年並み」の見込みとなり、県内では会津と浜通りで「100」、中通りが「101」で全国と同様、「平年並み」となりました。

水稲の作柄については、8月中旬以降の低温や日照不足などの影響が懸念されましたが、会津よつば農協への米の出荷状況を見ると、本町の一等米比率は11月11日現在で96・4割となっています。

また、米の放射性物質検査につきましましては、本町では早期出荷米が9月14日から始まり、11月9日には全ての出荷の自粛が解除され、西会津産米の安全・安心が確認されました。

鳥獣被害防止対策

例年同様、今年もツキノワグマの出没情報が寄せられ、現地調査をした上で必要に応じて、追い払いや捕獲を行うなど、被害防止に取り組んできました。11月30日現在の熊の捕獲数は11頭で、出没の多かった前年の同時期と比較し、63頭減少しています。

また、イノシシについては、稲の踏み倒しや畦畔の掘り起こしなどの被害が町内各地で発生していますが、町で進めている電気柵設置への補助支援により、対策を講じた農地においては被害が抑えられている状況です。なお、今年30人増員した鳥獣被害対策実施隊と連携し、捕獲に取り組んだ結果、11月30日現在で19頭を捕獲しました。

全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた実証校

文部科学省では、GIGAスクール構想により整備した児童生徒1人1台端末を活用し、小学6年生と中学3年生を対象に毎年行われている全

ふるさと応援寄附金——
ふるさと応援寄附金については、多くの皆さんのご支援により、11月末現在で、4297件、9387万9千円の寄附がありました。

また、企業版ふるさと納税については、11月末現在で、2件、1100万円の寄附をいただきました。

今冬の除排雪対策

雪処理支援隊については、本年度は11月に雪処理支援対象者を調査したところ37世帯となる見込みであり、対象世帯の除排雪を迅速に支援していくことで、冬期間の安心を引き続き確保していきます。

また、除排雪費用助成については、非課税の75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯等を対象に助成するものです。助成額は年間1万円、申請により給付券を交付します。なお、この除排雪を行う事業者は、町内の事業所や個人事業主等を募集し、現在132事業者を登録しています。合わせて、除排雪事業者を紹介し

徒の学習環境の充実を図っていきます。

可決された議案

- ◆ 町税条例の一部改正Ⅱ令和3年度税制改正に伴う特定払った場合の医療費控除の特例に係る所要の改正
- ◆ 町国民健康保険条例の一部改正Ⅱ産科医療補償制度の見直しに伴う出産育児一時金の増額に係る所要の改正
- ◆ 町国民健康保険条例の一部改正Ⅱ国保加入世帯に属する未就学児童への税額減額措置の追加に伴う所要の改正
- ◆ 町消防団設置等に関する条例の一部改正Ⅱ消防車両配備の見直しおよび部・班の統廃合等に伴う条例定数の削減に係る所要の改正
- ◆ 令和3年度一般会計補正予算(第5次)Ⅱ新型コロナナウシルスワクチン接種の3回目の実施に係る経費や、子育て世帯臨時特別給付金に係る経費など
- ◆ 令和3年度特別会計等補正予算(国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計)
- ◆ 西会津町こゆりこども園の管理に係る指定管理者の指定
- ◆ 西会津町老人憩の家の管理に係る指定管理者の指定
- ◆ 西会津町林業研修センターの管理に係る指定管理者の指定
- ◆ 教育委員会教育長の任命への同意Ⅱ江添信城さん(9町内2)の任命に同意



てほしいという問い合わせが数多くあることから、登録事業者で公表を希望した除排雪事業者について、広報紙やホームページ、「雪の相談窓口」などで周知を図っていきます。

新型コロナウイルスワクチン接種

町の新型コロナウイルスのワクチン接種については、今年4月19日に医療従事者を対象に開始し、その後、順次国が示す優先順位により接種を進め、集団接種会場での接種については65歳以上の高齢者が7月30日に、12歳から64歳までは10月9日に、それぞれ終了しました。

また、ワクチン接種率は、7月1日現在で町に住民登録している12歳以上の5619人の90・7割にあたる5097人が2回目の接種を終了しています。現在、国では2回目の接種終了から8カ月が経過した人から順次、3回目の追加接種を実施するとしています。町



冬を迎え、除雪作業スタート 除雪事業出動式

12月1日、町除雪センターで令和3年度除雪事業出動式が行われました。式では、技能員を代表して新郷除雪ステーションチーフの福地信雄さんが「町民の皆さんの生活のために安全で事故のないように取り組んでいきます」と決意表明を行ったほか、除雪車両の点検を行い、降雪時の出動に備えました。



自力での雪処理が困難な世帯を支援 雪処理支援隊出動式

町では、雪処理支援隊を本年度も設置し、その出動式を12月1日に町役場で行いました。式では、隊員を代表して渡部秀満さんが「支援が必要な皆さんが安心して地域で暮らせるよう、万全の体制で取り組んでいきます」と宣誓の言葉を述べました。

雪処理支援隊は、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援を受けることが難しい世帯の除雪支援を令和4年3月31日まで行います。



雪による事故防止のため関係機関で連携 雪害対策本部を設置

町では、雪の事故や交通障害などの雪害から町民の皆さんの生活を守るため、雪害対策本部を12月1日に設置しました。

対策本部では、雪崩発生危険箇所の巡視パトロールや、落雪による事故や雪下ろし中の事故防止のための啓発活動など、雪による災害予防に向けて活動を行います。大雪や雪害が発生する恐れがある場合などは、ケーブルテレビや防災行政無線、町ホームページなどで情報をお知らせします。



▲ 看板を掲げる薄町長と渡部町民税務課長

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆ 大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆ 掲載料 1 枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

長年の社会福祉への取り組みに対し表彰 県社会福祉大会 受賞報告

11月5日、第75回福島県社会福祉大会が相馬市民会館で開催されました。町からも多くの皆さんが表彰され、中でもトライアングルの会が第29回瓜生岩子賞を受賞しました。トライアングルの会は平成15年に創設され、精神保健福祉ボランティアとして障がいのある人たちが地域で暮らしやすくなるように活動している団体です。

同18日、トライアングルの会の齋藤信子さんと県知事表彰を受けた町民生児童委員協議会長の伊藤哲雄さんと野菊の会の山形洋子さんの3人が町役場を訪れ、薄町長に受賞を報告しました。

薄町長は「長年にわたる社会福祉活動が認められたのは大変嬉しいこと。受賞された皆さん、本当におめでとうござります」と祝福の言葉を贈りました。



▲ 瓜生岩子賞・トライアングルの会

◆ 瓜生岩子賞とは

瓜生岩子は現在の喜多方市出身で、孤児救済のための育児院や貧困者向け済生病院の開設などに献身的に取り組み、本県の社会福祉事業の先駆者と言われています。その精神にふさわしい社会福祉に功績のあった個人・団体を顕彰する賞が「瓜生岩子賞」です。



▲ 県知事表彰（個人）・伊藤哲雄さん



▲ 県知事表彰（団体）・野菊の会

各種統計の啓発や円滑な調査に尽力

県統計協会名誉会長表彰伝達式

12月10日、福島県統計協会名誉会長表彰伝達式が町役場で開催されました。本表彰は、通算で7年以上、国勢調査などの統計調査業務に従事した指導員または調査員が対象で、今回、町からは9人が表彰を受けました。

式では、大竹享副町長が受賞者一人一人に表彰状を伝達し、「多年にわたる統計業務へのご尽力に心から感謝申し上げます。今後とも統計業務へのご理解とご協力をお願いします」とあいさつしました。

◆ 受賞者 [敬称略]

矢部征男（松峯）、武藤喜平（柴崎）、三留智篤（西平）、長谷沼朝子（小清水）、薄定雄（井谷）、佐藤健一（橋立）、星敦志（極入）、目黒哲三（牛尾）、田崎吉和（長桜）





お知らせ INFORMATION

福祉灯油の 緊急補助を 行います

今冬の灯油価格の高騰が町内の冬の生活に大きな影響を及ぼしています。
町では、住民税非課税世帯で高齢者のみの世帯などを対象に灯油購入費用の助成を行います。対象世帯には、町内の灯油販売店で使える灯油給付券を郵送します。



（仮称）まちなか再生拠点施設の愛称が決定！
「にぎわい番所 ぷらっと」
この愛称には「にぎわいを創出する詰め所」「ぷらっと気軽に立ち寄れる」などの意味が込められており、町民の皆さんの応募の中から選定会で決定しました。
会議やサロン活動、イベントなどさまざまな用途に利用できますので、気軽に問い合わせください。
〈問い合わせ先〉 商工観光課 地域振興係 ☎45-2213

- ◆**対象世帯**
令和3年度の住民税が非課税の世帯であり、次のいずれかに該当する世帯
- ① 高齢者世帯（世帯全員が65歳以上である世帯）
 - ② 障がい者世帯（世帯に障がい者手帳などの交付や判定を受けた人がいる世帯）
 - ③ ひとり親世帯（18歳未満の子どもとそれを養育する父親または母親のみの世帯）
 - ④ その他世帯（①～③に準ずる世帯として町長が認める世帯）

◆**給付の内容**
対象世帯に対し1世帯あたり5000円の灯油給付券を給付します。

◆**事業期間**
令和4年3月31日まで

◆**問い合わせ先**
福祉介護課 福祉係
☎45-2214

「医療費の お知らせ」を 確認していますか

国民健康保険または後期高齢者医療に加入している人には、自身の健康管理と医療への関心を高めてもらうため、毎年、「医療費のお知らせ」を送付しています。本年度は、令和3年分の医療費について作成されますが、加入保険によって送付時期などが異なるため、注意してください。

◆**国保加入者の場合**
町から奇数月の月上旬に、はがきを送付しています。
※確定申告に使用できませんが、記載のない医療費は領

◆**後期高齢者医療加入者の場合**
福島県後期高齢者医療広域連合から封書で令和4年2月下旬より順次発送されますので、確定申告を急ぐ場合は領収書で申告してください。

◆**申請・問い合わせ先**
◎国民健康保険について
健康増進課 国保係
☎45-4532

◎後期高齢者医療について
県後期高齢者医療広域連合
☎024-528-9025

新型コロナウイルスワクチン 追加接種に関するお知らせ

町では、国が示す方針に基づき追加接種の準備を進めています。3回目の追加接種を受けられる対象者は次のとおりです。

- ① 2回目の接種日から原則8カ月経過していること。
- ② 追加接種時の年齢が18歳以上であること。

※65歳以上の人は令和4年3月から、64歳以下の人は同年4月から集団接種により実施予定です。日程などについては、決まり次第、町ホームページやチラシなどでお知らせします。

※現在、国において接種間隔の前倒しを協議中です。

〈問い合わせ先〉
町新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口
☎45-2269

ケーブルテレビ 1月の放送案内

◆**みんなで「さすけねえ輪！」**
町民の皆さんが「最近あった嬉しかったこと」や「健康づくりのために意識していること」などをコメントします。
※にしいあいつニュースワイドの直前に放送（約30秒）。

◆**問い合わせ先**
（二社）西会津ケーブルネット
☎45-4461

家庭ごみを持ち込むときは 運転免許証の提示が必要です

喜多方地方広域市町村圏組合では、環境センター山都工場に持ち込まれた家庭ごみが管内から発生したものかどうか、誰が運搬したかを確認するため、運転免許証の提示などを求めることとなりましたので、ご理解とご協力をお願いします。
なお、提示物などについて

◆**問い合わせ先**
環境センター山都工場
☎0241-38-3005
町民税務課 町民生活係
☎45-2215

償却資産の申告 をお願いします

固定資産税は、土地や家屋のほか償却資産（事業用の設備、機械、車両といった資産）に対しても課税されます。償却資産の所有者は、毎年1月1日現在で所有する償却資産の申告が必要です。
町では、会社や個人で工場や商店などを経営している対象者に関係書類を12月中旬に発送していますので、申告期限の令和4年1月31日（月）までに申告をお願いします。
売却や減失などにより資産がなくなつた場合、届出をしないと引き続き課税されることとなりますので、償却台帳に記載されている資産をもう一度確認してください。
また、申告用紙が届かない場合や新たに事業用資産を所有した場合は、左記まで問い合わせください。

喜多方税務署 からのお知らせ

◆**申告はe-Taxで**
マイナンバーカードとマイナンバーカード対応スマートフォンを使って、国税庁ホームページから専用アプリをインストールすることにより、簡単な手順で申告書の作成とデータの送信ができます。
なお、税務署長が通知したe-Tax用のID・パスワードでも申告書データを送信できます。詳しくは税務署まで問い合わせください。

◆**申告に関する相談について**
所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する相談は「確定申告電話相談センター」を利用ください。
喜多方税務署に電話し、音声ガイダンスに従い「0番」を選択してください。

◆**問い合わせ先**
喜多方税務署
☎0241-24-5050
（音声ガイダンスに従い、「2番」を選択してください）

別表 必要書類一覧

	運転手の 運転免許証	搬入者本人の 身分証明書	ごみ発生場所 の確認書※	運搬車への 委任状※
本人 (運転者)	○			
本人 (非運転者)	○	○		
本人 (非居住)	○	○	○	
同居親族	○	○		
別居実子・ 実親	○	○	○	
別居親族 (兄弟含む)	○	○	○	○
友人	○	○	○	○

※町役場で発行できます。

◆**提出・問い合わせ先**
町民税務課 税務係
☎45-2212

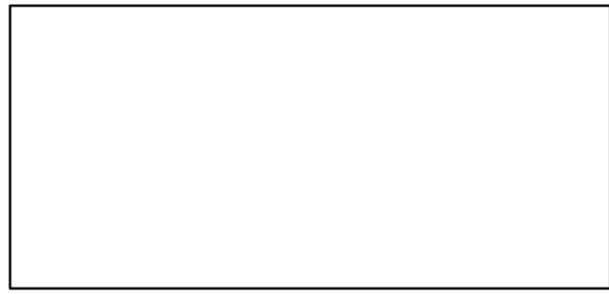
以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

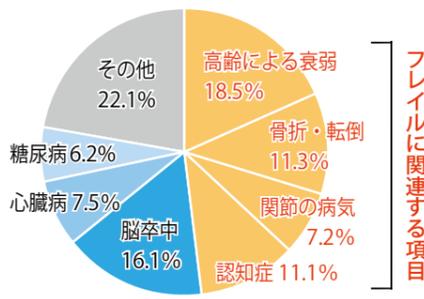
紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆**大きさ** 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆**掲載料** 1枠当たり5,000円/月

◆**問い合わせ先**
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



グラフ 介護になった要因(平成29年度)



フレイルに関連する項目

フレイルとは、加齢とともに体と心の働きや認知機能の低下、社会的なつながりが弱くなった状態をいいます。フレイルは、そのまま放置すると要介護状態になる可能性があります。町のニーズ調査でも、介護が必要になった要因の約半数がフレイルという結果が出ています。

フレイルとは

フレイルは、今注目されている言葉のひとつで、高齢になっても元気に過ごせるよう、フレイルに早めに気付き、早めに対処することが大切です。

『フレイル』を知っていますか？

あなたはフレイル？

次の表を確認してみましょう。3項目以上に該当するとフレイルの可能性があり、1〜2項目に該当するとフレイルの前段階である可能性があります。

表 フレイル確認表

チェック	項目
<input type="checkbox"/>	半年で意図せず体重が2kg以上減った
<input type="checkbox"/>	週3〜4日、何をするのも面倒だと感じる
<input type="checkbox"/>	歩く速さが遅くなった
<input type="checkbox"/>	ペットボトルのふたが開けにくくなった
<input type="checkbox"/>	軽い運動や体操を週に1回もしていない

③ 社会参加
趣味や地域の集まり、ボランティア活動、友人や家族とおしゃべりをする機会を持ちましょう。

② 身体活動
身体活動は、筋肉をつけるだけではなく、食欲や心の健康にも影響します。まずは今より10分多く体を動かしましょう。自宅でも簡単に出来る体操として、ラジオ体操や鎌田式スクワット、鎌田式かかと落としなどがおすすめです。

① 栄養・食事の改善
バランスの取れた食事を3食しっかり食べましょう。特に大切なのは、筋肉を作る基となるたんぱく質を十分に摂ることです。肉、魚、卵、大豆製品などたんぱく質が豊富な食品を毎食1品以上摂るよう心掛けましょう。

フレイル予防のための3つのポイント

すごいな！むし歯のない子



11月25日、3歳児10人を対象に健康診査を行った結果、9人にむし歯がありませんでした。



宝川サロンの皆さん
サロンなどの集まりに参加し体操したり楽しく交流をすることはフレイル予防に大変効果的です。



▲宝川サロンの皆さん

皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊の渡辺です。
今月の集落支援だよりでは、大学生による奥川郵便局での調査などについて紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当 渡辺 貴洋 隊員

奥川郵便局での調査

10月19日と11月16日の2回にわたり、福島大学岩崎ゼミの学生による郵便局の利用に関する調査が実施されました。この調査は、学生の視点を生かしながら、過疎地域での郵便局が果たす役割について研究することを目的としています。



奥川郵便局で行った学生による聞き取り調査

ユーザーの話に耳を傾けながら郵便局の利活用方法について探っていました。
これまでの岩崎ゼミの活動は、主に集落に入り、人足の手伝いや集落ごとのイベントへの協力をするものでした。郵便局との関わりが増えたことで、できることの幅が広がり学生の活動も見えやすくなると良いなと思っています。
また、今回の活動で得た情報をまとめ、大学生の視点から見た課題と期待される役割と可能性を提案することになるので今後の活動も楽しみです。

大学生との活動

なぜ大学生を地域に呼び込む活動をしているのか。大学生を地域に呼んでどんなことしているか気になっていたり人も多いと思います。
町では、人足をはじめとした今まで集落だけで行っていたことの維持が難しくなりつつあります。そのため、大学生などの地域に関わってくれる人を増やすことで、大変な作業も楽しみながら行い、集落の負担を少しでも軽くしようとするのを目的として活動しています。
とはいえ、人足の受け入れは中町集落と梨平集落のみで、受け入れ希望集落が増えていないのが現状です。これはボランティアへの対応などの点に、面倒や不安に感じていることもあるかと思っています。
中町集落の場合では、学生が山菜やキノコを作業しながら収穫し、それをてんぷらやみそ汁にするなど、お金をかけずに無理をしないでできることから始めています。

2021年もお世話になりました

雪が降り始め、冬の知らせが聞こえてきました。皆さんにとって2021年はどのような1年でしたか？
2022年も良い1年が過ぎるよう、風邪などひかないよう体調には十分気をつけてお過ごしください。



中町集落での交流会の様子(令和元年)

戸籍の窓口

(11月受付分)

■ まちの人口

	12月1日現在	(前月比)
人口	5,858人	(-1人)
男	2,845人	(-4人)
女	3,013人	(+3人)
世帯	2,551戸	(+4戸)

■ お誕生おめでとう

江川 らんちゃん 大輝・優奈 10町内

■ ご結婚おめでとう

長谷川 学	2町内
平原 直美	新潟県
佐川 康之	安座
渡部 礼子	会津若松市

■ お悔やみ申し上げます

新井田 登 (92)	学 父	3町内
齋藤 勝久 (92)	孝子 夫	尾登
清野 美千男 (88)	守 父	下小島
高橋 岩雄 (87)	裕一 父	上野尻
長谷川 経子 (94)	辰男 母	下野尻
武藤 裕悦 (66)	志穂 父	井谷
小林 重男 (89)	重吉 父	山浦



Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・野球部 部長]

たかまつ とわ
高松 翔和 さん

◆ 私の夢——

僕はまだ将来なりたい職業は決まっていませんが、大好きな野球を続けていきたいと思っています。小学3年生から野球を始めましたが、どんなときでも野球は楽しいので、ずっと続けていきたいです。

◆ 努力していること——

いつも野球ができることに感謝して、仲間や支えてくれる人たちを大切にしたいと思っています。

◆ 未来の自分に一言——

どんなときでも諦めずに頑張れ!!

Person

町民バトンタッチ

たかはま なつみ
高濱 夏海 さん [8町内]

◆ 趣味は？

ライブ参戦(妊娠前)、パン屋探し

◆ 熱中していることは？

スヌーピーののを見るときつい買いがちです

◆ 自分を一言で表現すると？

いわきから嫁いできた29歳

◆ あなたのモットーは？

なるようになる

◆ 最近感動したことは？

息子の日々の成長。お出掛けも、前より「一緒に楽しめている」感じがします。

◆ これからやってみたいことは？

パン作り

◆ 次の方を紹介してください

Y・Hさん

とっておきの物は？

息子の写真。プロのカメラマンに撮ってもらった生後10日の時の写真です。



本間 美道 さん (12月号) からメッセージ

いつもうちのお母さんと仲良くしてくれてありがとう!



Column

協力隊リレーコラム

『子どもを育むことは、まちの未来を想うこと』
時の流れと言うのは光陰矢の如しで、私が西会津町・奥川で下宿生活を始めて、幾年が経ちました。この町は、今や自分にとって第二の故郷のようになっています。
日々、子どもたちや学校の先生と活動を共にしながら、教育とは「子どもを育む」と同時に、「まちの未来を想う」ことだと感じます。「子どもが自分のワクワクする将来を思い描ける」町の未来は明るく、そのためには「不易」と「流行」を捉えて大切なことを教え・学べる町の教育が重要です。西会津町教育では、地域(家庭も含む)と学校の協働による地域学校協働活動、そして、ICT機器を活用した個別・協働学習を進めています。それらはこの町の不易と世間の流行を捉えて、子どもに充実した学びを提供しています。
西会津町はよそから見れば何も無い町かもしれませんが、私からするとあるものはあり、ないものはありません。そんなこの町で皆さんと一緒に、子どもが自分の将来を思い描ける学校・地域を作る力に、私は引き続きなりたいです。



は せ が わ こう じ
長谷川 幸志 隊員

協力隊3年目。埼玉県出身、中央大学文学部卒業。以前は浜通りの学校にて教育NPO団体でキャリア教育に従事。奥川にて下宿しながら、町教育委員会で、ICT教育・地域協働学習分野にて活動中。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その57

文：田崎 敬修

ともこ 友子の墓

常泉寺の墓地の片隅に地元でない人たちのお墓がひっそりと並んで建っています。このお墓は友子の墓ともこといい、鉱山労働者のお墓です。西会津では黒沢地区を中心に多くの鉱山が古くから開発されてきました。鉱山の仕事は命懸けで、専門的な技術から日常生活まで相互扶助がどうしても必要でした。時代が新しくなると現在の労働組合的性格を含みながら一山一家主義の共同体組織となり、この組織を友子同盟・友子組合と称し加入者および組織を一般的に「友子」と呼びました。

鉱山労働者から坑夫志望者選び、正月やお盆に近隣鉱山の親分衆立会で兄分・親分を決めて坑夫取立式が行われ、ここで「坑夫取立出世免状」を受けて初めて友子として認められ、技術習得や友子社会のしきたり・習慣体得のために3年3月10日の厳しい修練に励



友子の墓



み、やがて職兄・職親となって後輩を指導できるようになりました。失業すると「坑夫取立出世免状」を持って一宿一飯の恩義を大切に全国を渡って行っていました。

親分が坑夫を集め、労務や労賃まで面倒をみる特殊な雇用制度は鉱山側にとっては非常に都合のよいものでした。「友子」という特殊な連帯性は、坑夫の親分への忠誠心と親分が坑夫を自分の子ども以上に面倒を見るという関係性を生み出したのです。常泉寺の友子の墓は、大正3年(1914)と翌4年に起こった山口鉱山の犠牲者の友子と明治39年(1906)に尻高鉱山で急死した友子の墓を親分・兄弟分が建立・供養したものです。埋葬された友子の出身地は、山形県亀北田村(現在の大石田町)・福島県日橋村(現在の会津若松市)・秋田県大野村(現在の北秋田市)でした。

今月の表紙

今月は、以前撮影された飯豊山からのご来光です。当初の予定では、町内の別の場所から日の出を撮影しようと考えていたのですが、条件に恵まれず断念しました。今年こそは撮影できるように頑張っていきたいです。

編集後記

明けましておめでとうございます。令和4年も皆さんにとって、素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈りいたします。

令和3年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか？コロナ禍も2年目に突入し、ワクチン接種など感染予防対策も進められています。イベントの開催も徐々に緩和され、紙面にもにぎやかな様子が戻りつつあります。令和4年も、元気な西会津町の様子を多くの皆さんにお伝えできるように、果敢にトライしていきたいと思えます。(秦)